

教職に関する科目（平成26年度入学生用）

科目コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職資格	摘要
70040	教職概論	2	30	1	前期	村瀬 桃子	○	
	教育原理	2	30	1	前期	村瀬 桃子	○	
	発達と学習	2	30	1	後期	清水 浩	○	
	学校教育の制度及び経営	2	30	1・2	後期	村瀬 桃子	選択	
	国語科教育法	2	30	1	後期	馬場 重行	○	国語国文指定
	英語科教育法	2		1	後期	北山 長貴		英語英文指定
	社会科教育法	2		1	後期	吉田 歆		日本史指定
70210	道徳教育・特別活動	2	30	2	前期	加島 修一	○	
	生徒指導	2	30	1	後期	加島 修一	○	
70230	教育相談	2	30	2	後期	加島 修一	○	
70240	教職実践演習（中学校教諭）	2	30	2	後期	清水・村瀬 馬場・北山・吉田	○	
70310	中学校教育実習	4	120	2	集中	清水・村瀬	○	
70330	事前・事後指導（中学校教諭）	1	45	2	集中	清水・村瀬	○	

(注) }○数字は選択必修単位

教職に関する科目（平成27年度入学生用）

科目コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職資格	摘要
70010	教職概論	2	30	1	前期	村瀬 桃子	○	
70020	教育原理	2	30	1	前期	村瀬 桃子	○	
70030	発達と学習	2	30	1	後期	清水 浩	○	
70040	学校教育の制度及び経営	2	30	1・2	後期	村瀬 桃子	選択	
70110	国語科教育法	2	30	1	後期	馬場 重行	○	国語国文指定
70120	英語科教育法	2		1	後期	北山 長貴		英語英文指定
70130	社会科教育法	2		1	後期	吉田 歆		日本史指定
70220	道徳教育・特別活動	2	30	2	前期	加島 修一	○	
	生徒指導	2	30	1	後期	加島 修一	○	
	教育相談	2	30	2	後期	加島 修一	○	
	教職実践演習（中学校教諭）	2	30	2	後期	清水・村瀬 馬場・北山・吉田	○	
	中学校教育実習	4	120	2	集中	清水・村瀬	○	
	事前・事後指導（中学校教諭）	1	45	2	集中	清水・村瀬	○	

(注) }○数字は選択必修単位

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70010		教職概論	2	村瀬 桃子	前期	

**【達成目標】**

1. 教育専門職（教育者）としての職務内容や身分、待遇等を知る。
2. 教育専門職（教育者）としての心構えをもつ。

**【授業内容・方法】**

講義が中心ではあるが、教育実習に行く前に「大勢の人の前で話す」ことに慣れるよう、受講者全員の前でロールプレイ（グループ）およびスピーチ（個人）をする。

**【授業計画】**

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ①オリエンテーション             | ②教職観とその変遷(1)理想の教師像    |
| ③教職観とその変遷(2)日本の伝統的な教師像 | ④教職観とその変遷(3)専門職としての教職 |
| ⑤ロールプレイ                | ⑥教師の役割(1)教師の法的役割      |
| ⑦教師の役割(2)教師の仕事の特質      | ⑧教員の任用と服務(1)教職員の資格    |
| ⑨教員の任用と服務(2)教員の身分と任用   | ⑩教員の任用と服務(3)教員の服務     |
| ⑪教員の任用と服務(4)身分保障と分限・懲戒 | ⑫教員の任用と服務(5)勤務条件      |
| ⑬～⑭1分間スピーチ             | ⑮教師の資質向上と研修           |

**【テキスト】**

テキストはなし。資料等は必要に応じて配布する。参考文献については授業中にその都度通知する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

教育専門職の「専門性」とは何かを、それぞれ考えてほしい。また、毎回感想用紙を配り、質疑応答（コメント）も行う。「教師の卵」として授業に参加する意識を持つこと（自治・自制・自立の意識）。

**【評価方法】**

ロールプレイ（20%）、スピーチ（30%）、出席状況（20%）、レポート（30%）によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70020		教育原理	2	村瀬 桃子	前期	

**【達成目標】**

1. 人間に学びや教育が必要な理由、ならびにすべての子どもが学校に通う理由について知る。
2. 教育制度や教育課程等について、歴史的な背景をふまえた理解ができるようにする。

**【授業内容・方法】**

講義中心ではあるが、受講者の理解を助けるために視聴覚教材も可能な限り使用する。なお、授業の最初に「おまけ」の時間（5～10分程度）を設け、最後には感想を毎回提出する（出席代わり）。

**【授業計画】**

- ①（オリエンテーション＋）「人間とは何か」という問いから考える
- ② 子育てと教育
- ③～⑤ 学校の歴史
- ⑥ 日本の教育—明治・大正—
- ⑦ 日本の教育—昭和初期—
- ⑧ 日本の教育—戦争と教育—
- ⑨ 日本の教育—戦後改革—
- ⑩～⑫ 戦後日本の教育制度
- ⑬ 戦後日本の教育課程と学校経営
- ⑭～⑮ 現代の日本における子どもの問題と学校（1980年代以降）

**【テキスト】**

テキストの代わりに、毎回プリントを配布する。参考文献については、授業中に必要に応じ紹介する。

**【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】**

簡潔でわかりやすい講義を目指す。また、毎回感想用紙を配り、質疑応答（コメント）も行う。「おまけ」は内容に配慮する。教育実習に行く立場の人が、授業態度等で注意されないようにすること。

**【評価方法】**

期末試験（筆記試験）：約70%、感想（＝出席状況）：約30%とする。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70030		発達と学習	2	清水 浩	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 1. 人間の「発達と学習」に関する諸問題を取り上げ、基本的な考え方を理解する。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> まず人間の発達をもたらすものは何なのかという問題について考えます。その中で学習の用いる働きについて理解したうえで、学習のプログラミング（教え方）について、認知心理学などの成果を踏まえて考えます。また、発達障害についても取り上げます。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①オリエンテーション ②発達をもたらすものは何か ③～④社会的隔離児の事例 ⑤～⑥個人差・文化差と差違仮説 ⑦～⑧発達の最近接領域説 ⑨～⑬学習のプログラミング ⑭発達障害の子どもとの関わり方 ⑮まとめと試験</p> <p><b>【テキスト】</b> 適宜資料を配布します。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> 講義内容の理解と定着を図るため、ほぼ毎回コメントを求めますので、積極的に取り組むようにしてください。</p> <p><b>【評価方法】</b> レポート及びコメントペーパー（50%）、試験（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70040		学校教育の制度及び経営	2	村瀬 桃子	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 1. 事例を通して「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」について知る。 2. 教育に関する法や行政の現状を客観的・批判的に観る眼を養う。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 講義の前半に取り上げる具体的な事例は、東京都立七生養護（特別支援）学校の性教育教材没収事件（教育内容への教育行政の介入）である。また、後半はロールプレイやグループワーク、模擬授業も行う。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①～② 特別支援学校のイメージをつかむ（映画『学校Ⅱ』から） ③～④ 七生養護学校の実践 ⑤ 七生養護学校で起こったこととその背景 ⑥～⑦ 憲法・教育基本法と「改正」教育基本法 ⑧ 教育委員会の役割 ⑨ ロールプレイ ⑩教職員、親・子どもに関する法規 ⑪～⑫ グループワーク ⑬～⑮ 模擬授業</p> <p><b>【テキスト】</b> テキストの代わりに、毎回プリントを配布する。参考文献については、授業中に必要に応じ紹介する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b> できる限り教育実習を視野に入れた活動をする。知識を問うのではなく、授業での積極的な発言や参加を期待する。</p> <p><b>【評価方法】</b> ロールプレイ（20%）、グループワーク（20%）、模擬授業（20%）、積極性（授業中の発言やグループ活動でのリーダーシップ等、20%）、出席（20%）。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70110		国語科教育法	2	馬場 重行	後期	

**【達成目標】**

- ① 教育実習に適応できる基礎力を身につけます。
- ② 国語科教師を目指すための、最低限の知識習得を目指します。

**【授業内容・方法】**

中学校の国語科教育の理念と現実を基礎的知識として講義し、そこを基盤に、できるだけ実践的な教育実習への取り組みを目指します。具体的には、指導案作成、教材研究、授業方法などについて、模擬授業形式で学習します。

**【授業計画】**

- I 「国語」という教科の特性、並びに現在の課題の概説 (1回)
- II 学習指導要領についての概説 (2回)
- III 模擬授業形式による実践的取り組み(「字のないはがき」「オツベルと象」等具体的な作品を基にした模擬授業を行います。1～11回)
- IV 総括 (1回)

**【テキスト】**

『教育実習生のための学習指導案作成教本・国語科』(教育実習を考える会編 蒼丘書林)

**【参考書】**

『新版・国語科学習指導の研究』(大田勝司他編 双文社出版)

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**

この講義を受講する人は、教職に就くことを前提としています。その意志をいいかげんなものでなく、真に意味あるものとするよう意欲的に受講して下さい。教育実習は、米短の看板を背負って現場に立つようなものです。それは、あなた方にとっても、子どもたちにとっても、かけがえのない一度だけの「出会い」でもあります。より実りの多い、大切な現場体験を持てるよう努めて欲しいと願います。今年度も引き続き、指導案の作成を複数回求めます。昨年までよりもっと添削に力をいれ、より良い形になるよう努めますので、意欲的に提出して下さい。

**【評価方法】**

授業への積極的な参加度 (40%)、課題模擬指導案 (30%)、期末試験 (30%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70120		英語科教育法	2	北山 長貴	後期	

**【達成目標】**

1. 英語教育における基本的指導方法を理解すること。
2. 教育実習時に学習指導案を作成し、指導案に基づく授業ができるようになること。

**【授業内容・方法】**

教育実習に向けての準備を行います。英語教育についての基本知識を学ぶために、毎回の授業でテキストの内容をまとめ各自発表してもらいます。そして、教育実習で行うであろう学習内容について各自指導案を作成し、ミニ授業を全員に行ってもらいます。

**【授業計画】**

1. 教育実習とは
2. 英語教育の目的、英語の指導目標
3. 英語教育の環境的要因、学習者の要因
4. 教師の役割、言語習得理論上の問題
5. 発音の指導、文字と綴り字の指導
6. 語彙の指導、文法の指導
7. リスニングの指導、スピーキングの指導
8. リーディングの指導、オーラルの指導
9. 英語指導の原理、教材研究と授業の準備
10. 授業案の作成と授業の進め方
11. テストと評価、教育機器の活用
12. ネイティブの活用、教育実習に向けて
- 13～15. 模擬授業

**【テキスト】**

『新編 英語科教育法入門』土屋澄男 他 編著 (研究社) 本体 2,500 円+税

中学校英語テキスト (授業中に指示します)

**【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】**

指導案を作成し模擬授業を全員に行ってもらいます。英検 2 級取得者の受講が望ましい。

**【評価方法】**

授業への参加度 (30%)、レポート (30%)、模擬授業 (40%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70130		社会科教育法	2	吉田 勲	後期	
<p><b>【達成目標】</b>          中学校における社会科教育のあり方、さらに学習指導の方法について探っていく。学校教育の場で、常に基本となるのは『学習指導要領』であり、まずその理解が求められる。その上で、実践的な授業計画案・指導案の作成を試みる。また、模擬授業を行うことで、実践力を付ける。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b>          実際に授業を行うための具体的な手法などを解説する。その上で、受講者による模擬授業を実施し、アドバイスをを行うとともに、受講者相互の参考とする。</p> <p><b>【授業計画】</b>          ①教員になる心構え          ②社会科という科目について          ③『学習指導要領』について          ④実践的な授業計画・指導案の作成          ⑤模擬授業</p> <p><b>【テキスト】</b>          とくに使用しない。必要に応じてプリントを配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>          教師の卵として意欲を示してほしい。指導案作りや教材研究、さらに模擬授業を行うので、積極的に行動することを期待している。講義を聴くだけでなく主体的に取り組んで欲しい。</p> <p><b>【評価方法】</b>          授業への参加度（30%）、提出物（30%）、模擬授業（30%）、レポート（10%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
70210		道徳教育・特別活動	2	加島 修一	前期																
<p><b>【達成目標】</b>          1. 「中学校学習指導要領」に即して、学校教育における道徳教育の意義と指導法について考えます。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 道徳教育とは</td> <td>6. 道徳教育の内容と道徳の時間</td> <td>11. 特別活動の目標と意義</td> </tr> <tr> <td>2. 道徳教育の意義</td> <td>7. 道徳の時間の指導Ⅰ</td> <td>12. 特別活動の役割</td> </tr> <tr> <td>3. 道徳教育の目標</td> <td>8. 道徳の時間の指導Ⅱ</td> <td>13. 生徒会活動の内容とその指導</td> </tr> <tr> <td>4. 道徳教育の内容</td> <td>9. 道徳教育の指導計画</td> <td>14. 学校行事の内容とその指導</td> </tr> <tr> <td>5. 道徳教育と道徳の時間</td> <td>10. 学校と家庭・地域との連携</td> <td>15. 学級活動の内容とその指導</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b>          ○プリントを配布する。 【参考書】○ 文部科学省編：「中学校学習指導要領」解説－道徳編          ○ 文部科学省編：「中学校学習指導要領」解説－特別活動編</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>          ○現在の学習指導要領のねらいとするところは「生きる力」の育成です。この道徳教育と特別活動はその根幹となるものです。子ども達の実態や学校現場の状況を踏まえながら道徳教育と特別活動についてできるだけ実践的な内容をめざします。          ○内容に比較して時数が少ないので、できるだけ重点化して講義を行います。</p> <p><b>【評価方法】</b>          ○期末試験の結果と授業への参加度。</p>							1. 道徳教育とは	6. 道徳教育の内容と道徳の時間	11. 特別活動の目標と意義	2. 道徳教育の意義	7. 道徳の時間の指導Ⅰ	12. 特別活動の役割	3. 道徳教育の目標	8. 道徳の時間の指導Ⅱ	13. 生徒会活動の内容とその指導	4. 道徳教育の内容	9. 道徳教育の指導計画	14. 学校行事の内容とその指導	5. 道徳教育と道徳の時間	10. 学校と家庭・地域との連携	15. 学級活動の内容とその指導
1. 道徳教育とは	6. 道徳教育の内容と道徳の時間	11. 特別活動の目標と意義																			
2. 道徳教育の意義	7. 道徳の時間の指導Ⅰ	12. 特別活動の役割																			
3. 道徳教育の目標	8. 道徳の時間の指導Ⅱ	13. 生徒会活動の内容とその指導																			
4. 道徳教育の内容	9. 道徳教育の指導計画	14. 学校行事の内容とその指導																			
5. 道徳教育と道徳の時間	10. 学校と家庭・地域との連携	15. 学級活動の内容とその指導																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
70220		生徒指導	2	加島 修一	後期																
<p><b>【達成目標】</b>  ○学校現場の実態を明らかにし、不登校や不適応などの生徒指導上の課題について考察するとともに、豊かな人格形成を実現するための生徒指導のあり方について考えます。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生徒指導とは</td> <td>6. 子どもの発達と心理</td> <td>11. 子どもの非社会的行動</td> </tr> <tr> <td>2. 生徒指導の方法</td> <td>7. 自我の形成</td> <td>12. 生徒指導の三機能</td> </tr> <tr> <td>3. 指導計画</td> <td>8. 家庭環境の変化</td> <td>13. 家庭との連携・協力</td> </tr> <tr> <td>4. 生徒指導の展開</td> <td>9. 地域環境の変化</td> <td>14. 学級づくり</td> </tr> <tr> <td>5. 生徒理解</td> <td>10. 子どもの反社会的行動</td> <td>15. コミュニケーション力の育成</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b>  ○プリントを配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  ○今、学校は様々な生徒指導上の課題を抱えて対応に努力しています。その背景や生徒の発達の課題を踏まえ、生徒指導のあり方を考えます。同時に、家庭における子育てについても考えます。  ○「生徒指導のあり方」は子ども達の「生き方指導」につながります。また、「教師のあり方」にもつながります。これらのことについても、学校現場の実情に即して触れていきます。</p> <p><b>【評価方法】</b>  ○期末試験の結果と授業への参加度。</p>							1. 生徒指導とは	6. 子どもの発達と心理	11. 子どもの非社会的行動	2. 生徒指導の方法	7. 自我の形成	12. 生徒指導の三機能	3. 指導計画	8. 家庭環境の変化	13. 家庭との連携・協力	4. 生徒指導の展開	9. 地域環境の変化	14. 学級づくり	5. 生徒理解	10. 子どもの反社会的行動	15. コミュニケーション力の育成
1. 生徒指導とは	6. 子どもの発達と心理	11. 子どもの非社会的行動																			
2. 生徒指導の方法	7. 自我の形成	12. 生徒指導の三機能																			
3. 指導計画	8. 家庭環境の変化	13. 家庭との連携・協力																			
4. 生徒指導の展開	9. 地域環境の変化	14. 学級づくり																			
5. 生徒理解	10. 子どもの反社会的行動	15. コミュニケーション力の育成																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
70230		教育相談	2	加島 修一	後期																
<p><b>【達成目標】</b>  社会の急激な変化や価値観の多様化により、子ども達は様々な問題を抱えています。それらについて、子ども達の発達過程、社会環境などを探りながら、教育相談の考え方や方法、そして学級に活かす教育相談について考えます。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b></p> <p><b>【授業計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 教育相談とは</td> <td>6. 豊かなかかわりⅡ</td> <td>11. 非社会的行動の理解と対応</td> </tr> <tr> <td>2. 子ども達の実態</td> <td>7. 豊かな人間性を育む社会環境</td> <td>12. 学級担任の役割</td> </tr> <tr> <td>3. 教育相談の組織と運営</td> <td>8. 不登校の理解と対応</td> <td>13. 相談活動の進め方</td> </tr> <tr> <td>4. 豊かな人間性を育む</td> <td>9. いじめの理解と対応</td> <td>14. カウンセリング・マインド</td> </tr> <tr> <td>5. 豊かなかかわりⅠ</td> <td>10. 反社会的行動の理解と対応</td> <td>15. 障害を持つ子どもへの対応</td> </tr> </table> <p><b>【テキスト】</b>  ○プリントを配布する。</p> <p><b>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</b>  ○子ども達の心と行動が変化してきています。そして、様々な問題を抱えて悩んでいます。それが暴力や反抗、万引きや無気力などの形になって現れています。そのような子ども達の心理をどう理解し、どう指導すべきなのか、できるだけ実態に即して考察します。  ○人とのかかわり方がうまくできない子ども達が増え、そこから様々な問題が発生しています。「互いが認めあえる学校」をめざし、「豊かなかかわりで生きる力を」育む学校経営の実際についても触れます。</p> <p><b>【評価方法】</b>  ○期末試験の結果と授業への参加度。</p>							1. 教育相談とは	6. 豊かなかかわりⅡ	11. 非社会的行動の理解と対応	2. 子ども達の実態	7. 豊かな人間性を育む社会環境	12. 学級担任の役割	3. 教育相談の組織と運営	8. 不登校の理解と対応	13. 相談活動の進め方	4. 豊かな人間性を育む	9. いじめの理解と対応	14. カウンセリング・マインド	5. 豊かなかかわりⅠ	10. 反社会的行動の理解と対応	15. 障害を持つ子どもへの対応
1. 教育相談とは	6. 豊かなかかわりⅡ	11. 非社会的行動の理解と対応																			
2. 子ども達の実態	7. 豊かな人間性を育む社会環境	12. 学級担任の役割																			
3. 教育相談の組織と運営	8. 不登校の理解と対応	13. 相談活動の進め方																			
4. 豊かな人間性を育む	9. いじめの理解と対応	14. カウンセリング・マインド																			
5. 豊かなかかわりⅠ	10. 反社会的行動の理解と対応	15. 障害を持つ子どもへの対応																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70240		教職実践演習（中学校教諭）	2	清水・村瀬・馬場・北山・吉田	後期	
<p><b>【達成目標】</b> 1. 教職課程で履修した講義及び教育実習で学んだことを統括し、教員に求められる資質能力を確認する。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 1. 模擬授業や小グループでの討議を通じて、教員に求められる資質能力について考える。</p> <p><b>【授業計画】</b> ①ガイダンス(教職実践演習の説明及び教育課程履修カルテの作成)、②実習の振り返り(小グループで検討)、③～⑦模擬授業と授業改善(1. 指導案の作成、2～3. 模擬授業と討論、学科混合でクラスを編成)、⑧「学校現場が求める教員像(仮題)」(現職教員の講話)、⑨「学校現場が求める栄養教諭像(仮題)」(栄養教諭の講話)、⑩「児童の健やかな発達(仮題)」(養護教諭の講話)、⑪～⑭教育問題を考える(小グループでの討議等)、⑮まとめ(教職課程で学んだことを総括)</p> <p><b>【テキスト】</b> 各学習指導要領及び解説</p> <p><b>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</b> グループ討議やロールプレイなどがあるので、積極的な姿勢で臨んで欲しい。グループ分けやロールプレイでの役割分担などが強制的に割り振られることがあるが、時間等の制約もあるので了承していただきたい。なお、やむをえず欠席する場合は欠席届を担当教員に提出すること。</p> <p><b>【評価方法】</b> 授業への参加度(50%)、発表内容、レポート、講話振り返り等(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
70310		中学校教育実習	4	清水 浩 村瀬 桃子	集中	
70330		事前・事後指導(中学校教諭)	1			
<p><b>【達成目標】</b> 1. 中学校教諭の業務と職業倫理について具体的に学び、教育者としての使命感や倫理観を培う。</p> <p><b>【授業内容・方法】</b> 1. 中学校の教育活動に、教師としての立場で実際に参加することによって、教科及び教科外教育の意義と内容を体得する。</p> <p><b>【授業計画】</b> 1. 教育実習オリエンテーション 2. 中学校教育の観察・参加・実習 3. 実習レポート、実習結果の整理と反省 4. 事後指導(報告会)</p> <p><b>【テキスト】</b> 「教育実習の手引き」(購入) 「教育実習ノート」(配布)</p> <p><b>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</b> 教育実習オリエンテーションをはじめとして教職関係について、掲示板で連絡します。日頃からチェックするようにしてください。 教育実習オリエンテーションには、必ず出席すること。 教育実習に行く前に、教科書を取り寄せ、教材研究をしっかりとっておいてください。 また、実習では、担当学級の生徒の名前を早く覚え、明るく、積極的に話かけるように心がけてください。</p> <p><b>【評価方法】</b> 実習中学校の評価(50%)、実習ノート及び実習レポートの評価(50%)</p>						